

目次

1.団体紹介

2.ひとり親家庭の現状

3.キャリアアシスタントの今後

NPO法人キャリアアシスタント 理事長 佐々木健太

団体紹介

●活動内容

ひとり親家庭向けの無料の塾・家庭教師

●設立

2015年2月

●生徒・先生数

生徒数:106名、先生数:54名

●塾

場所:計11ヶ所

多摩、立川、小平、三鷹、渋谷、墨田、大田(大森、蒲田)、千葉(稲毛海岸、みつわ台)、母子施設

●教育方法

先生1人に生徒2人の個別指導



活動のきっかけ

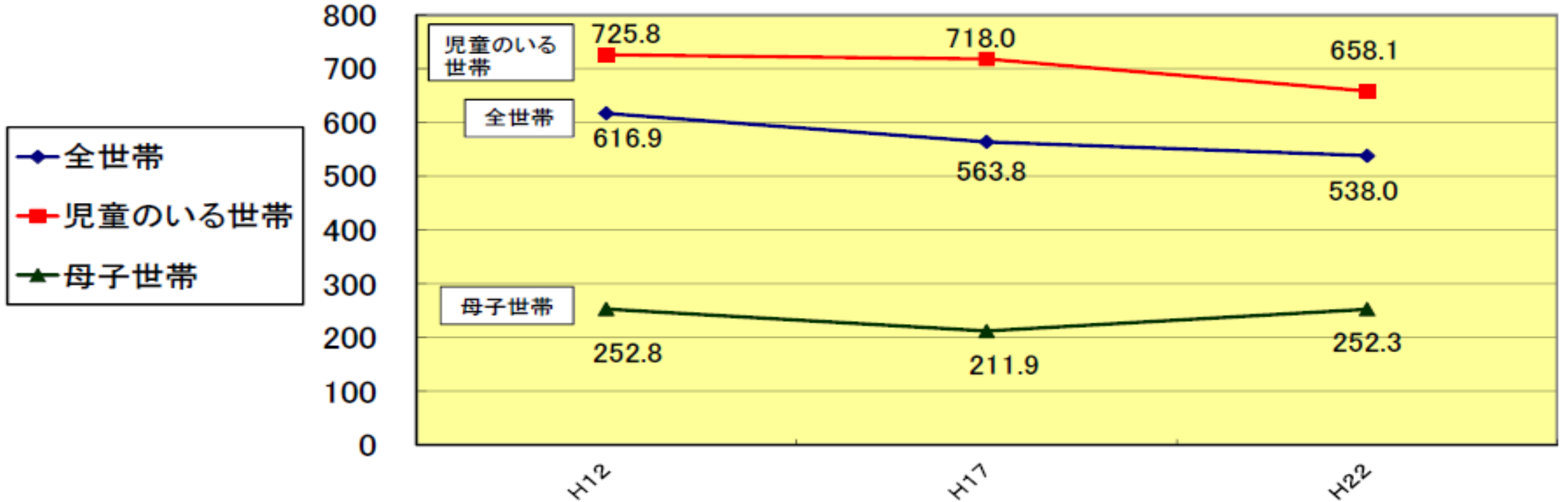
ひとり親家庭育ち

姉が重度の障害者

ひとり親家庭の現状__世帯別の平均所得

世帯類型別の平均所得額の年次推移(平成12年度～平成22年度)

単位:万円



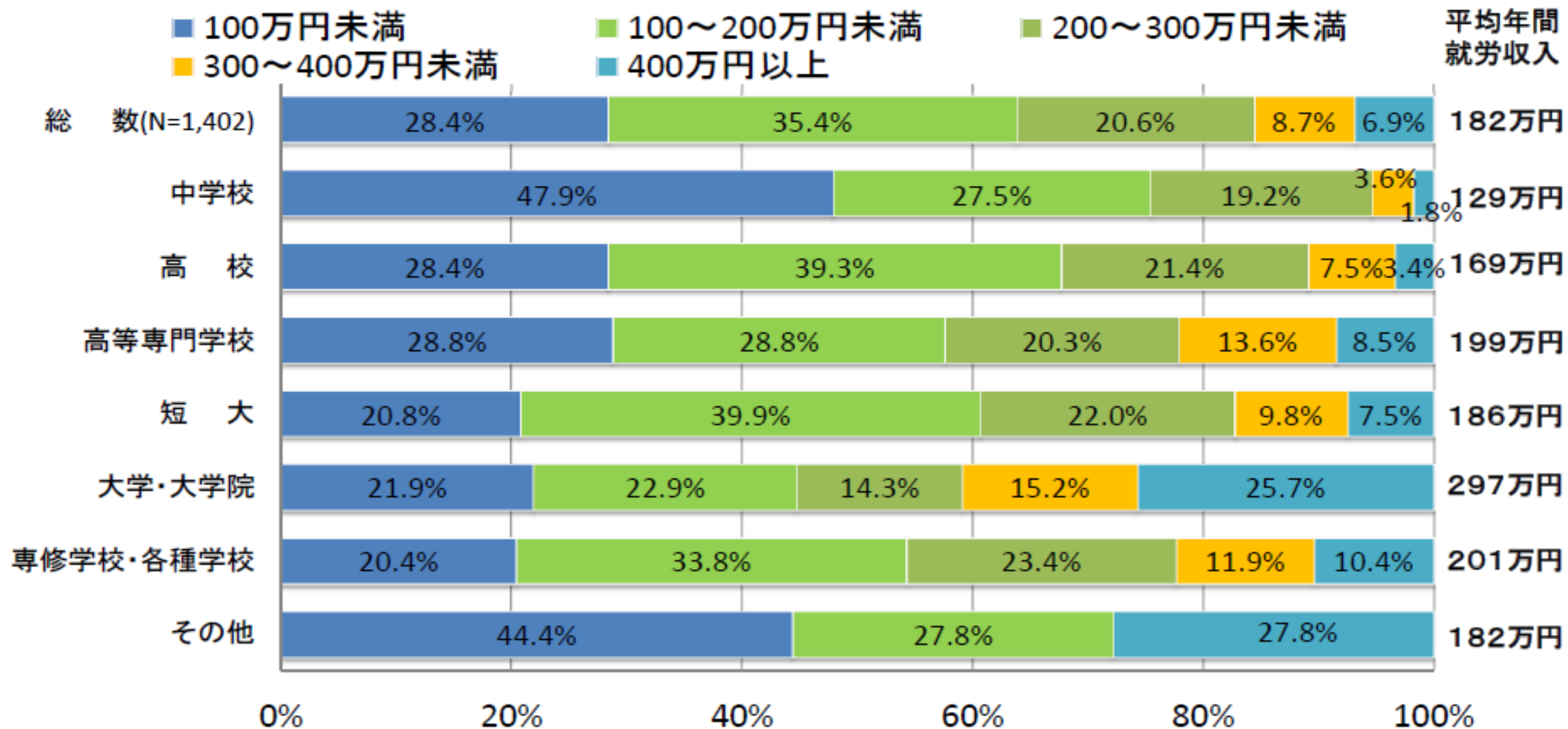
注) 所得は、稼働所得、財産所得、社会保障給付金等の総額。

母子世帯は、死別・離別・その他の理由で、現に配偶者のいない65歳未満の女と20歳未満のその子のみで構成している世帯。

(国民生活基礎調査を出典とするデータについて、以降の資料において同じ。)

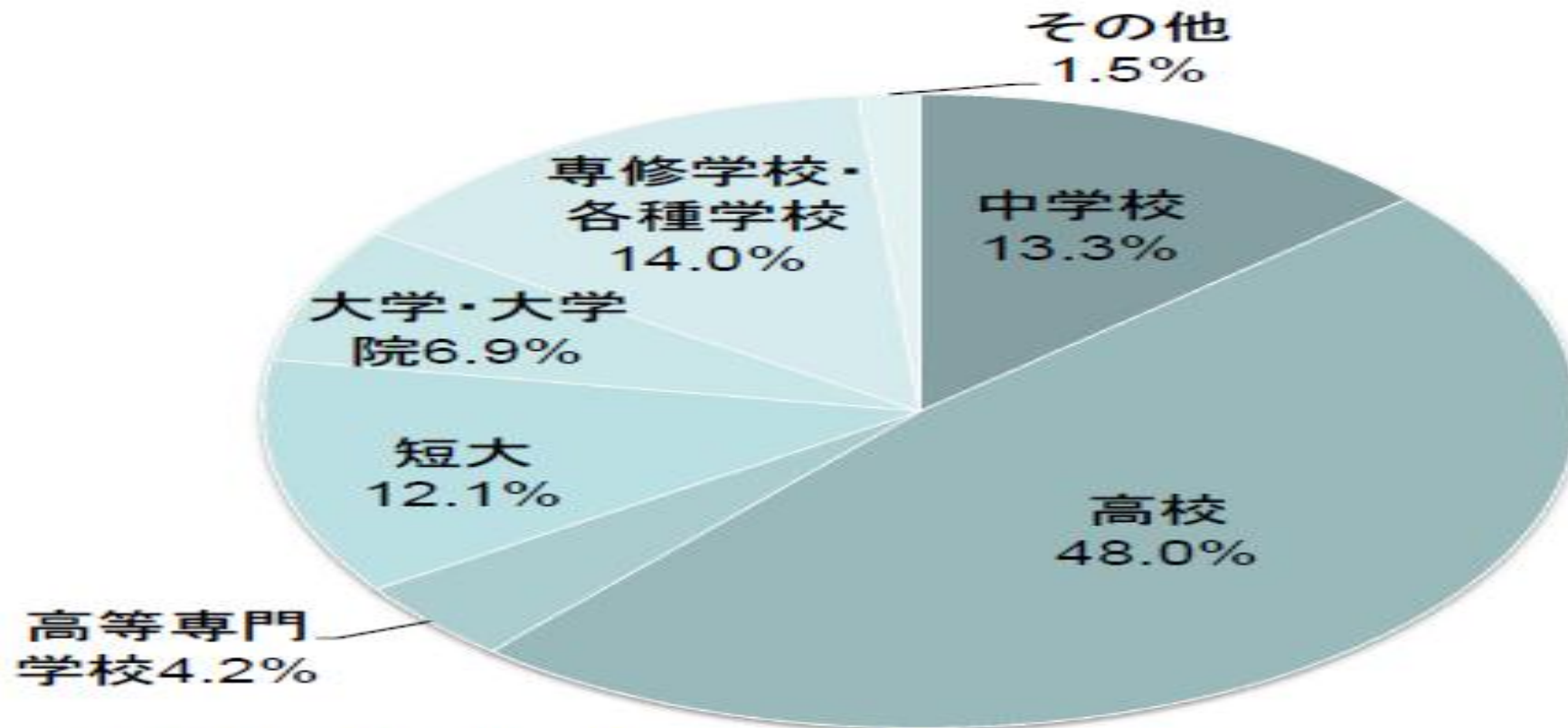
(出典) 国民生活基礎調査(平成13年度、平成18年度、平成23年度)

母子世帯の最終学歴別の年間就労収入



母子世帯の親の最終学歴

母子世帯 (N=1,617)

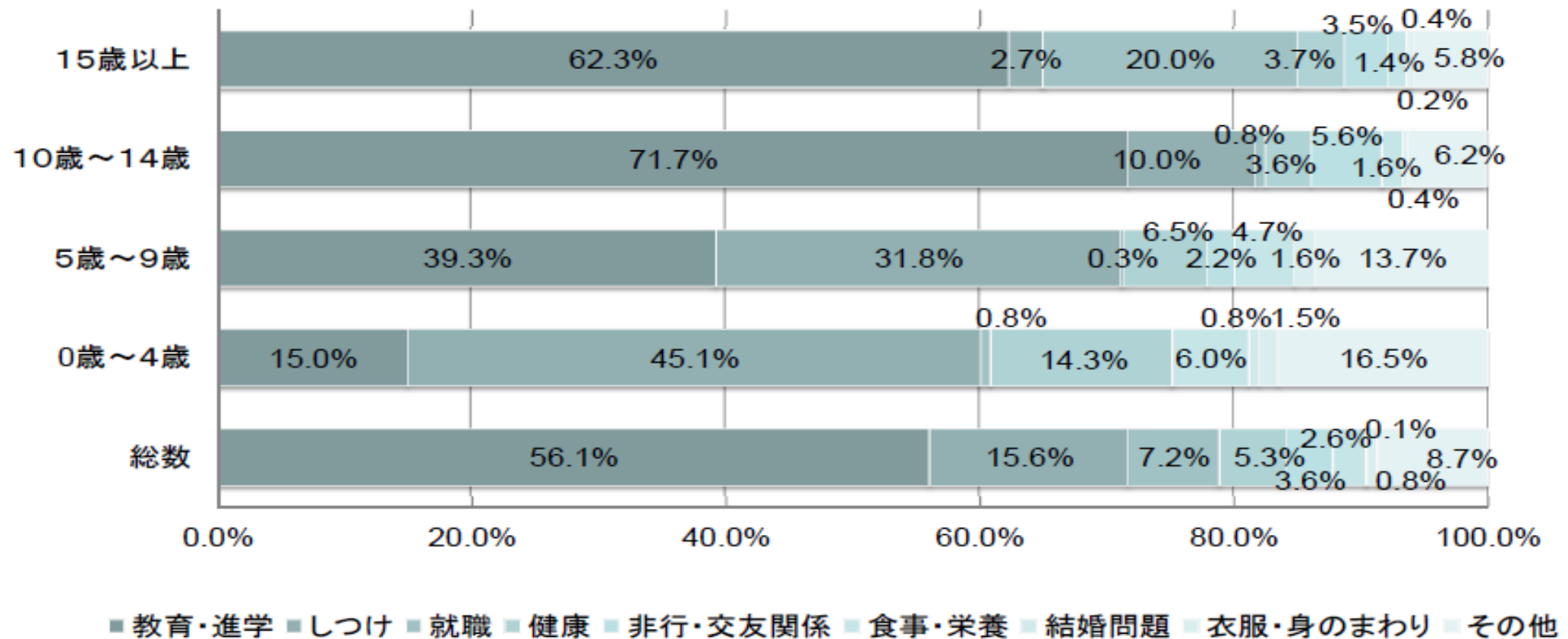


注: 総数は、最終学歴における不詳を除いた値である。

(出典) 平成23年度全国母子世帯等調査

保護者の子どもへの悩みについて

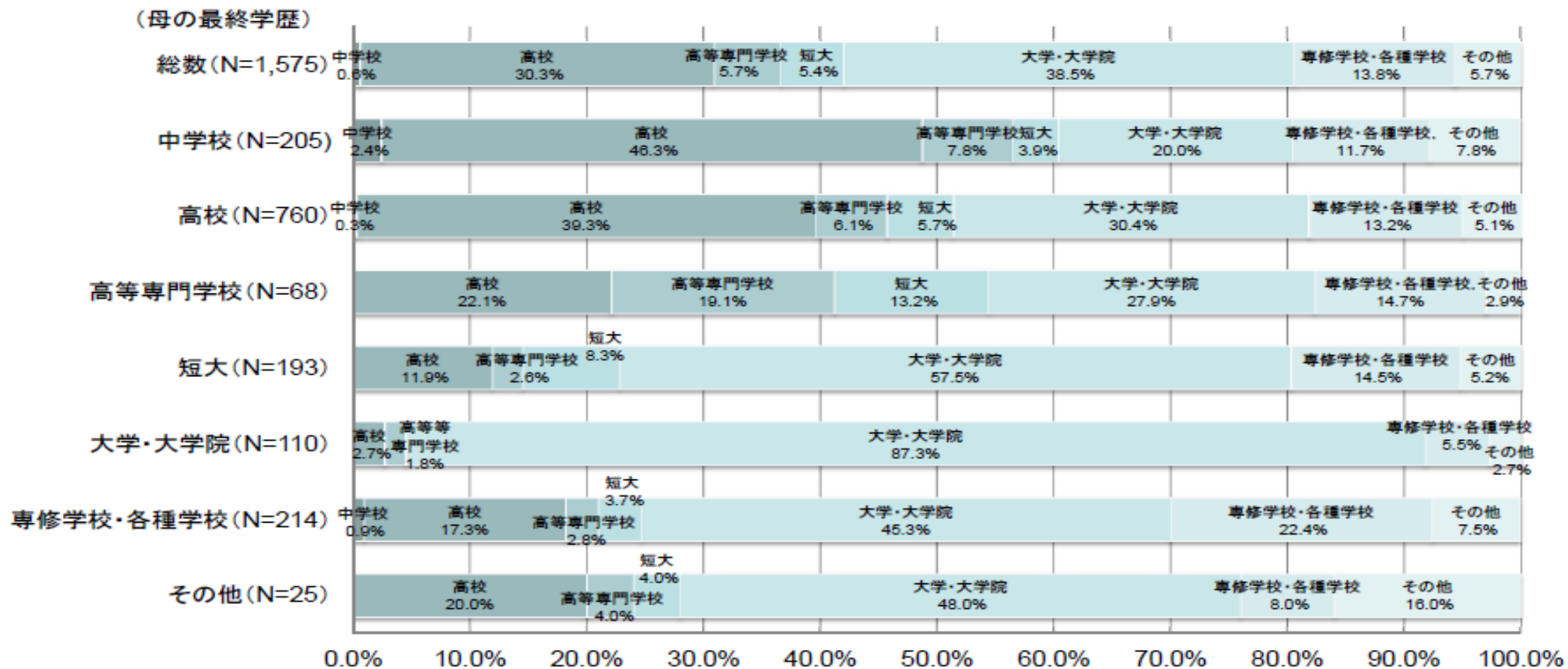
母子世帯の母が抱える子どもについての悩みの内訳(N=2,570)



(出典) 平成23年度全国母子世帯等調査

子どもの最終進学目標

母子世帯の子どもに関する最終進学目標(母の最終学歴別)



(出典)平成23年度全国母子世帯等調査

学校外教育とテストの点数の関係

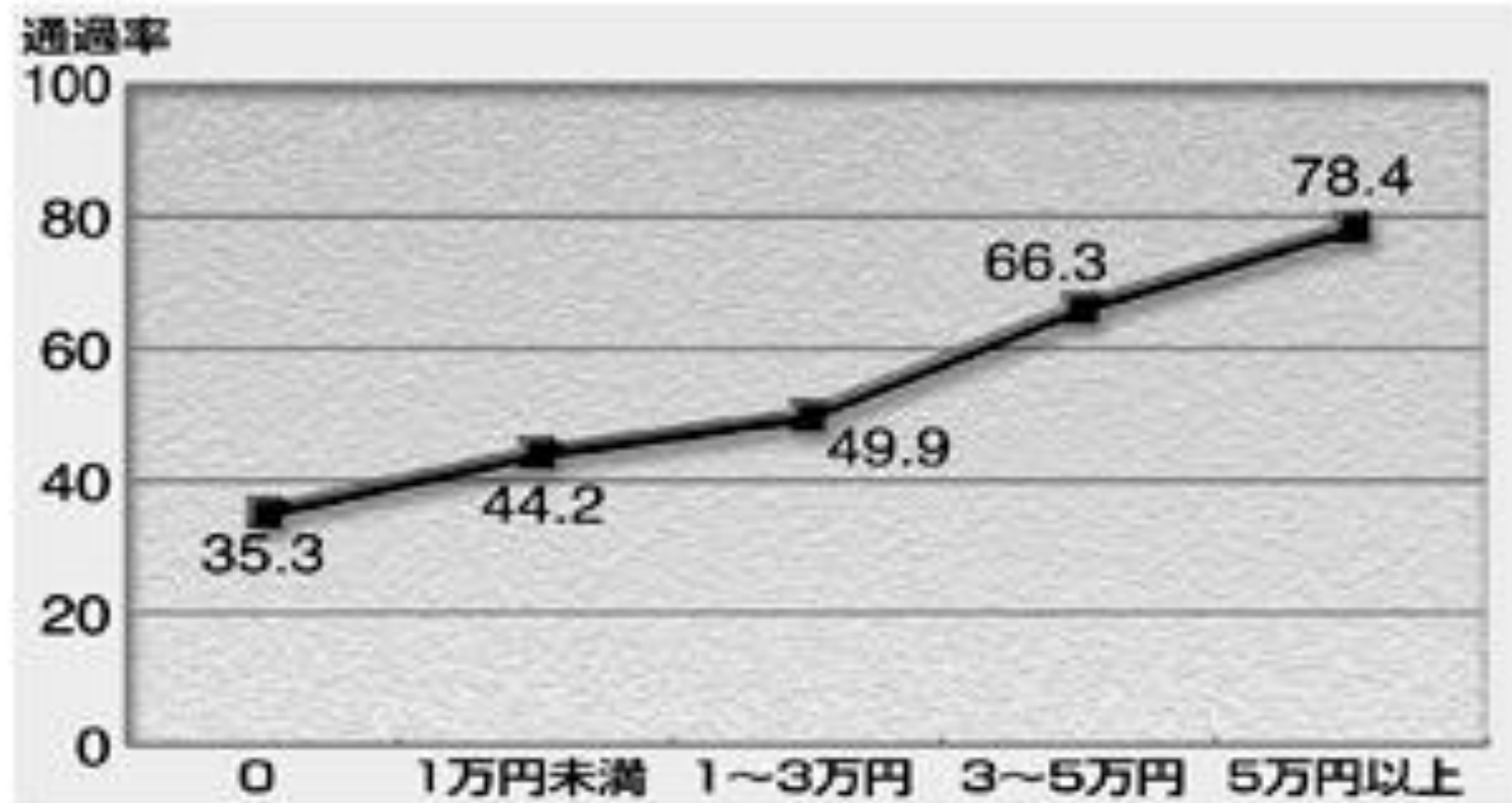


図1 学校外教育費支出と学力

ひとり親家庭の現状のまとめ

所得格差

世帯あたりの平均所得は、児童のいる世帯全体では658.1万円なのに対し、母子世帯では252.3万円

大学進学率

児童のいる世帯全体では、53.7%なのに対し、母子世帯では23.9%となっています。



子どもの生活環境により、学習の機会と結果が他の子どもよりも低い

活動・目指す社会

物理的・精神的貧困により教育格差のある子どもたちに対して教育支援をすること

全ての人が自分の人生に対して多様な選択肢(職業、休日、趣味)を持てる社会

キャリアアシスタントの特徴

寄付金や助成金に依存しない運営方法

- 各家庭から実費(交通費や施設利用料)をいただくことにより生徒が集まればすぐに塾の開講が可能かつ長期的な運営の確立

塾と家庭教師の両立

- 塾の要望だけでなく家庭教師の要望もあるために両方を共存させた仕組みを構築していきます。

キャリアアシスタントの今後の方向性

人生に対して多様な選択肢(職業、休日、趣味)
を持てる社会

子どもへの
アプローチ

キャリアアシスタントの活動

教育の
価値提供

それぞれのスキルや
能力を高める教育

社会への
アプローチ

生徒数の増加

教育の結果
生徒が参加したい
と思える環境

教育への無関心
を無くし、興味を
持ってもらう

ボランティアの
価値向上

社会問題の解決に
向けてアクションでき
る人材づくり

活動を通して.....

NPO同士のつながりの重要性

- 参加する子どもの複合的問題
- 例：子どもの虐待、食育問題、親の仕事、家計

地域のつながりの重要性

- 活動の拡大や安定
- 例：保護者の交流、ボランティアの安定性、他団体との交流や協力

最後に...

ボランティアの募集

○運営業務

⇒塾の管理業務、資金管理、生徒募集、イベント企画など

○先生としての参加

⇒各塾で小学生または中学生に指導

希望者はHPからメールまたは私に声をかけてください！！